産婦人科初期臨床研修プログラム

東京西徳洲会病院 初期臨床研修管理委員会 2022.4.1

I. 研修プログラムの目標と特徴

日本赤十字社医療センターで産婦人科を研修する。2年次の1カ月ローテート期間中には、産婦人科全般にわたり研修する。産科では正常分娩及び産褥の管理介助を研修し、分娩介助、会陰切開縫合なども実習する。婦人科では婦人科的診察法を実習し、術前術後管理、会陰裂傷縫合、腰椎麻酔、硬膜外麻酔等の手技も経験する。また産婦人科救急に対する基本的なアプローチ法を修得し、適切な対応ができることをめざす。

II. 研修施設と指導責任者

研修施設 : 産婦人科協力型臨床研修病院 日本赤十字社医療センター

産婦人科 山田 学 日本赤十字医療センター 第三産婦人科部長

産婦人科協力型臨床研修病院 湘南鎌倉総合病院

産婦人科協力型臨床研修病院 羽生総合病院

産婦人科 岩﨑 竜彦 羽生総合病院 産婦人科統括部長

III. 研修期間と週間予定表

研修期間: 2年次に必修科として、1ヶ月ローテートする。

週間予定表:

スタッフ医師週間予定表(産婦人科)

時刻	月	火	水	木	金	土	日
	カンファ	カンファ	カンファ	カンファ	カンファ	カンファレン	
8:00-9:00	レンス	レンス	レンス	レンス	レンス	ス	Off
9-12:00	午前診	午前診	午前診	午前診	午前診	午前診	Off
12-13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	Off	Off
13-17:00	手術	手術	手術	手術	手術	Off	Off

^{*} 分娩は随時あり、すべての予定に優先する。

産婦人科初期臨床研修到達目標

研修方略 (Learning Strategies: LS)

1) 研修の方略

原則として、下記の項目について研修する。

- (1) 医師 患者関係
 - ①良好なコミュニケーション
 - ②患者の病状の把握
 - ③患者への病状の説明
- (2) 女性生殖器の解剖・生理・内分泌学の基礎
- (3) 基本的な産婦人科診察能力
 - ①産婦人科に特有な問診事項・病歴記載の仕方
 - ②外診・妊婦の Leopold 触診法
 - ③双合診·内診
 - ④胸腔穿刺·腹腔穿刺
 - ⑤ダグラス窩穿刺
- (4) 基本的な産婦人科臨床検査
 - ①婦人科内分泌検査 基礎体温表の診断 不妊一般検査 ホルモン負荷試験
 - ②妊娠の診断 妊娠反応 経腟・経腹超音波検査 正常妊娠・異常妊娠の鑑別
 - ③性感染症検査
 - ④病理学的検査(細胞診・組織診)
 - ⑤内視鏡検査 コルポスコピー 子宮鏡 腹腔鏡
 - ⑥放射線学的検査 子宮卵管造影 CT·MRI 骨盤 X 線計測
- (5) 高頻度の産科・婦人科特有な症状・病態・疾患の経験
 - ①腹痛 (急性腹症を含む)
 - ②腰痛 ③不正性器出血

(6) 基本的な産科症例の経験

- ①妊娠の診断・異常妊娠 (子宮外妊娠・絨毛性疾患) との鑑別
- ②正常妊婦の外来管理(外・内診, 超音波検査を含む)
- ③正常分娩の管理
- ④切迫流・早産の管理
- ⑤腹式帝王切開手術の経験(周術期管理を含む)
- ⑥正常産褥の管理

(7) 基本的な婦人科症例の経験

- ①月経異常 無月経・排卵障害の診断 治療計画の立案
- ②思春期·更年期障害
- ③良性腫瘍 診断 治療計画の立案 第2助手としての手術への参加
- ④性感染症 検査 診断 治療計画の立案 41
- ⑤悪性腫瘍 診断 治療計画の立案 第2助手としての手術への参加
- ⑥不妊症 一般検査 診断 治療計画の立案

研修行動目標(SB0)と評価

評価記載: 優(完全に目標を達成した)

良(不完全だが目標を達成した)

可(目標に近いがまだ達成していない)

非(目標を全く達成していない)

【産科】

GIO:

正常分娩を含む妊娠、分娩、産褥に関連した救急患者様を診察し、専門の産科医にコンサルトする必要性および時期を判断できるとともに、それまでの応急処置を行なう技術を身に付ける。

SBO: 自己評価 指導医評価

1. 生殖生理学の基本を理解する。 < 2年次研修目標 >

母体の生理 優・良・可・非 優・良・可・非

羊水の生理 優・良・可・非 優・良・可・非

胎児の分化,発育の生理 優・良・可・非 優・良・可・非

分娩の生理 優・良・可・非 優・良・可・非

胎盤の生理

産褥の生理

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

2. 以下の産科検査所見が評価できる。

妊娠の診断法

胎児·胎盤機能検査法<2年次研修目標>

超音波検査法<2年次研修目標>

分娩監視装置<2年次研修目標>

羊水検査法<2年次研修目標>

X線検査法<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

3. 妊娠,分娩,産褥の管理ができる。

正常妊娠,分娩,産褥の管理

異常妊娠,分娩,産褥の管理<2年次研修目標>

薬物療法<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

4. 産科手術の習得

正常分娩の介助

会陰切開術

吸引分娩術<2年次研修目標>

子宮頚管縫縮術<2年次研修目標>

骨盤位牽出術<2年次研修目標>

羊水穿刺<2年次研修目標>

帝王切開術<2年次研修目標>

子宮内容除去術<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

5. 産科麻酔と全身管理<2年次研修目標>

麻酔法の種類と適応を理解すること。

LDR において産科麻酔を行い得ること。

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

【婦人科】

GIO:

産婦人科の救急患者様を診察して適切な初期診断を行ない,専門の婦人科医にコンサルトする必要性および時期を 判断できるとともに、それまでの応急処置ができる能力を身に付ける。

SBO: 自己評価 指導医評価

1. 婦人の解剖, 生理学を理解すること

腹部,骨盤,泌尿生殖器,乳房の解剖学

泌尿生殖器の発生学

性機能系の取扱い

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

2. 婦人科疾患の取扱い

感染症の診断,治療を行う。

優・良・可・非 優・良・可・非

腫瘍の診断、治療、病理についての知識を有する。<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

内分泌異常の治療に必要な知識と経験を有すること。

優・良・可・非 優・良・可・非

不妊症の治療に必要な知識と経験を有すること。<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

性器の垂脱の診断,治療を行い得ること。<2年次研修目標> 優・良・可・非 優・良・可・非 婦人科心身症の検査,診断,治療を行い得ること。<2年次研修目標>

優・良・可・非 優・良・可・非

乳房検査を行い得ること。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

3. 婦人科手術<2年次研修目標>

術前, 術後の全身管理を行い得ること。 優・良・可・非 優・良・可・非 手術のリスクを評価できること。 優・良・可・非 優・良・可・非 術後合併症の診断と処置ができること。 優・良・可・非 優・良・可・非 子宮内容除去術の実施。 優・良・可・非 優・良・可・非 附属器摘出術の執刀。 優・良・可・非 優・良・可・非 子宮全摘手術の助手。 優・良・可・非 優・良・可・非 子宮脱の手術の執刀。 優・良・可・非 優・良・可・非 悪性腫瘍手術の助手。 優・良・可・非 優・良・可・非 腹腔鏡検査及び腹腔鏡下での手術助手。 優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

優・良・可・非

優・良・可・非

【産婦人科の内分泌学】<2年次研修目標>

各膣式手術の助手。

GIO: 性機能に関するホルモンの種類, 生理作用, 作用機序などを理解すること。

SBO: 自己評価 指導医評価

1. 内分泌検査の原理と適応を理解し、結果の判定が可能なこと

基礎体温測定法優・良・可・非優・良・可・非優・良・可・非各種ホルモン測定法優・良・可・非優・良・可・非各種ホルモン負荷試験優・良・可・非優・良・可・非膣内容塗抹検査法優・良・可・非優・良・可・非

指導医サイン

2. ホルモン療法の種類と原理を理解し、その経験を有すること。

排卵誘発法, 排卵抑制法 優・良・可・非 優・良・可・非 子宫出血止血法, 子宫出血誘発法 優・良・可・非 優・良・可・非 黄体機能不全治療法 優・良・可・非 優・良・可・非 乳汁分泌抑制法 優・良・可・非 優・良・可・非 更年期障害治療法 優・良・可・非 優・良・可・非 月経随伴症状治療法 優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

3. 産科内分泌

胎盤ホルモンの種類、生理作用、作用機序、妊娠経過による変化などを

理解すること。

優・良・可・非 優・良・可・非

胎児胎盤系におけるステロイドホルモン産生の機序と臨床的意義を理解

すること。

優・良・可・非 優・良・可・非

子宮収縮に関係するホルモンの基礎知識を有し、それを臨床に用いられ

ること。

優・良・可・非 優・良・可・非

乳汁分泌の機序を理解すること。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

【産婦人科の感染症学】

SBO:

自己評価

指導医評価

1. 婦人性器の感染症

性器感染症の特徴を理解すること。

優・良・可・非 優・良・可・非

病原体の種類、検出法、感染による症状を理解すること。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

2. 産科の感染症<2年次研修目標>

妊婦における感染症の特殊性を理解すること。 優・良・可・非 優・良・可・非

胎内感染と胎芽、胎児病の関係を理解し、患者様を指導し得ること。

優・良・可・非 優・良・可・非

周産期感染の診断、治療、予防ができること。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

3. 治療法<2年次研修目標>

抗菌剤の種類と特徴を理解していること。

優・良・可・非 優・良・可・非

抗菌剤の選択を適切に行い得ること。

優・良・可・非 優・良・可・非

禁忌, 副作用を理解していること。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

【その他】

術前症例検討会の参加 各定例カンファランスの準備と参加 抄読会の準備と参加 1年次研修医の指導<2年次研修目標> 優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン